

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 10 月 31 日(2023.10.31)

【公開番号】特開 2023-99832(P2023-99832A)
【公開日】令和 5 年 7 月 13 日(2023.7.13)
【年通号数】公開公報(特許)2023-131
【出願番号】特願 2023-87254(P2023-87254)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 3 6

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 10 月 20 日(2023.10.20)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域を備えた遊技盤と、
前記遊技盤が取り付けられる本体枠と、
前記遊技領域に向けて遊技球を発射する打球発射装置と、
前記打球発射装置によって発射された遊技球が前記遊技領域から回収された後、回収さ
れた遊技球を揚送するための揚送装置と、
前記揚送装置の近傍に着脱可能に設けられる球磨き部材と、
遊技の進行を制御する主制御手段と、
を備え、
前記遊技領域を流下した遊技球を循環させることで遊技を行うようにした遊技機であっ
て、
前記球磨き部材が揚送装置の近傍に取り付けられた状態では、前記揚送装置によって揚
送される遊技球が前記揚送装置に設けられた開口部を介して前記球磨き部材と接触して球
磨きが行われ、
前記球磨き部材が前記遊技機から取り外された後でも前記主制御手段による制御を止め
ることなく遊技の続行が可能とされる
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 6】

本発明の請求項 1 は、
「遊技球が流下する遊技領域を備えた遊技盤と、
前記遊技盤が取り付けられる本体枠と、
前記遊技領域に向けて遊技球を発射する打球発射装置と、

50

前記打球発射装置によって発射された遊技球が前記遊技領域から回収された後、回収された遊技球を揚送するための揚送装置と、

前記揚送装置の近傍に着脱可能に設けられる球磨き部材と、

遊技の進行を制御する主制御手段と、
を備え、

前記遊技領域を流下した遊技球を循環させることで遊技を行うようにした遊技機であつて、

前記球磨き部材が揚送装置の近傍に取り付けられた状態では、前記揚送装置によって揚送される遊技球が前記揚送装置に設けられた開口部を介して前記球磨き部材と接触して球磨きが行われ、

10

前記球磨き部材が前記遊技機から取り外された後でも前記主制御手段による制御を止めることなく遊技の続行が可能とされる

ことを特徴とする遊技機。」である。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を例示する。

手段１：遊技領域が区画形成された遊技盤と、該遊技盤が嵌め込まれて収容される本体枠と、該本体枠が嵌め込まれて収容される外枠と、を備えた遊技機において、前記遊技機の上部に配置され、前記遊技領域に遊技媒体を発射する上部発射装置と、前記遊技機の下部に配置され、前記遊技領域及び前記上部発射装置を前記外枠に対して上下方向に可動させる扛上装置と、を具備することを特徴とする遊技機。

20

30

40

50